

「人の動きが、改善のヒントになる。」

異常行動検知アプリケーション

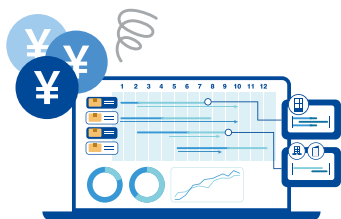
FABMonitor

Fujisoft Abnormal Behavior Monitor

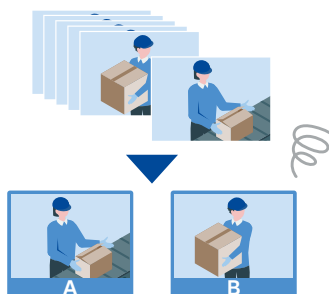
工場などで一定の作業を繰り返す作業者の、通常と異なる動きを検知し、品質および安全管理に貢献します。

工場のDX化を阻む課題

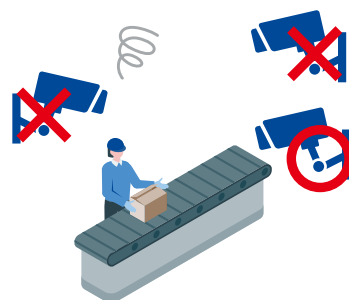
環境用意にコストがかかる



アノテーション作業が非常に手間



カメラの設置場所に制約が多い



これらの課題をFABMonitorが解決いたします!



FABMonitorができること

1

作業異常の検知

手順のズレや作業抜けを見つけるためのヒントを提示



2

体調変化の把握

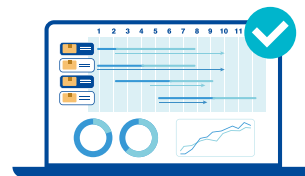
正常時との差分を検知することで、早期に作業者をケア



3

作業分析・見える化

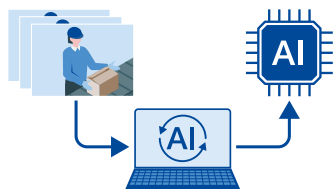
作業時間やバラつきをグラフ化して改善へ



4

学習作業の軽減

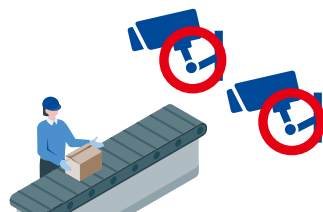
正解動画からAIが半自動で学習



5

カメラ設置角度の自由度が高い

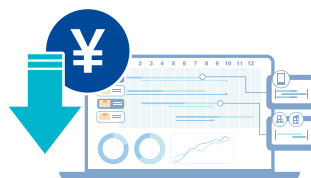
作業者の斜め上方からの撮影でも行動解析が可能



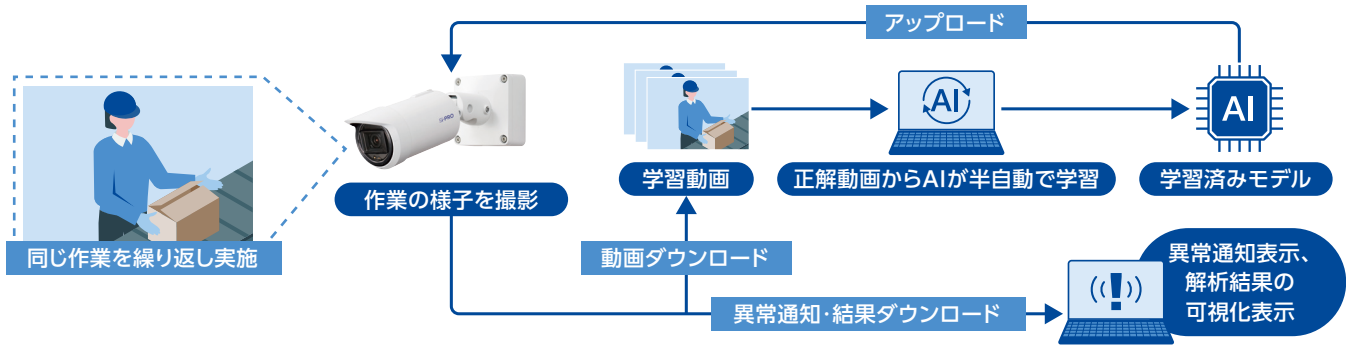
6

導入コストが低い

ハイスペックPCやクラウドの導入コストが不要

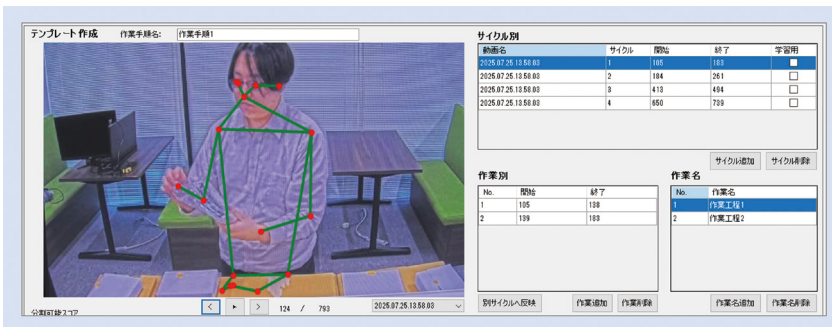


利用イメージ



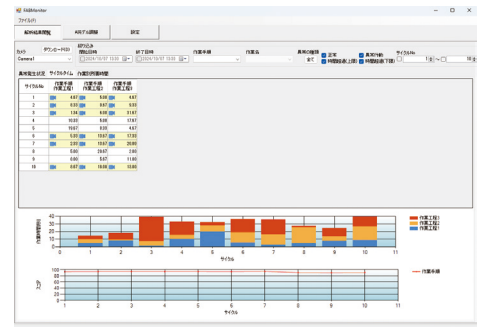
FABMonitorの機能

学習機能



- 学習動画に対して正解値を入力する際に、AIが自動で繰り返し作業を1サイクル※ごとに分割します。また、手動で調整した1サイクル分の正解値をもとに、AIが他の学習用のサイクルデータを自動作成するため、正解値を入力する作業時間を削減できます。※一定の繰り返し作業
- お客様ご自身で学習ができます。入力データを変えて学習することで、ロジックを変更することなく検知したい行動を変更可能です。

解析結果の可視化



よくあるご質問

Q 学習に必要な動画はどれくらい準備したらよいのか？

A 5～10サイクル程度の正常動作時の作業動画を用意すれば学習可能です。(1サイクルは30秒～10分程度を想定)

Q どの程度の細かい作業動作や大きな作業動作まで解析可能か？

A 全身/または上半身がカメラの映像に映っており、かつ、動きがあるような作業が解析可能です。指先のみが動くような作業については未対応です。

Q カメラの設置角度は？

A 全身の姿勢をAIで推定し解析を行っているため、作業者の頭と上半身の大部分が写っている必要があります。

🗨️ その他AI開発についても、お気軽にご相談ください。🗨️

【お問い合わせ】 ASI事業本部 FABMonitor問合せ窓口

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-21-10

✉ E-mail : fabmonitor-contact@fsi.co.jp

FABMonitor 製品サイトはこちら▶



※「i-PRO」はi-PRO株式会社の登録商標または商標です。

※本カタログに記載の内容および製品・サービスの仕様は予告なく変更する場合があります。

※本カタログに記載の内容および製品・サービスの仕様は、2025年11月5日現在の情報です。